

## 青峯山

青峯山の正福寺までのハイキング道では、的矢湾やその向こうの海の素晴らしい眺望が眺められます。昔、正福寺の僧侶は、火を焚いて、船の誘導の手助けとなる合図を送りました。このため、正福寺は船員たちの聖地とみなされるようになりました。

何世紀もの間、海によって財産を築こうとしてきた人々がこの寺に、灯籠を寄贈してきました。それらはこの寺で見ることができます。その中には伊勢志摩の岩がちな海を通る船で事業を行う全国津々浦々の商人もいました。正福寺の多くの支援者の名前は鐘、灯籠、本堂の屋根の内側などに刻まれています。寺への入口となる大きな木造の門は、天井に龍や不死鳥などの精巧な彫刻と彩色が施されています。この贅沢な装飾は、商人からいかに多くの資金が寄せられたかの証拠であり、近くで見る価値があるものです。

現在の本堂は 1836 年に建造され、黄金の十一面観音（慈悲の菩薩）像が納められています。本堂の左側には、海の景色が描かれた絵馬（祈願を書く木製の板）が掛けられています。